

秋吉台 遅いながらも着々と開花の準備

淡い青葉が映える季節ですが、新緑燃える緑の草原とはいかないようです。そろそろムラサキの花が見られると期待しながら秋吉台を散策。去年見つけた場所へ行ったものの、どこにあるのか分かりません。どうにか探し回って、ようやく発見。小さな花が一つだけ咲いていました。これから見頃となるのでしょうか、それにしても遅い開花です。例年だと4月下旬には開花しているのですが…。これから咲き始めるカキランの新芽もまだまだ小さいです。しかし遅いながらも着々と花を咲かせる準備はしていると思います。

(写真は5月20日の北山のように)



季節の花 思い込まずに確かめよう！！

マツバウンラン 荒地などどこにでも生えるオオバコ科の越年草。葉が松の葉のように細いことから命名ですが、葉だけではなく茎も細くて、少しの風でもよく揺れるので、写真は撮りにくいです。

コキンバイザサ 草丈の低い草原に生えるキンバイザサ科の多年草。自分より背の高い草の中は苦手のように、草刈りをされた所や遊歩道で見かけます。天気の良い昼前後が見頃です。

クロバイ 山林などに生えるハイノキ科の常緑小高木。小さな白い花が穂状につきます。秋吉台の山のほぼ頂上付近にしかないといわれていたのですが先日、車でよく通る道路沿いで見つけました。毎年車で通りすがりに見ていたのですが、ずっと遅咲きのアセビだと思っていました。



観察会「カエルが待っている」どんなカエルに出会えるかな

カエルの観察会「カエルが待っている」を行いました。簡単な説明の後、早速田んぼのビオトープに出かけました。近くの田んぼでは田植えが始まっています。水が溜ったビオトープではカエルが鳴いています。子供たちはジャブジャブと中へ入ってカエル探し。鳴いている所へ近づくと鳴き声がやみ、なかなか見つかりません。今年はカエルも毎年たくさんいるアカハライモリもずい分と少ないようです。



動物との遭遇 アナグマ 一瞬 目と目が合っ...

ここ数年、あまり見かけなかったアナグマが、最近になって良く見かけるような気がします。車で近づくと、こちらをチラッと見ますが、すぐに草むらでゴソゴソとしています。なんだか無視されているようです。車から降りてカメラを構えると、一瞬こちらを向いて目と目が合いますが、すぐに見て見ないふりをするように何気なく草むらに消えて行きます。まるい大きなお尻の後ろ姿が印象的です。



ギンリョウソウ

かわいい森の妖精

森の中など湿気のある少し薄暗い所に出現するツツジ科の腐生植物。子どもの頃は、山道などで見かけるとドキッとして、なんだか見てはいけないものを見たような気がしていましたが、今では「かわいい森の妖精」です。今年も会いたいと思って、森の中を歩きました。知人から教えてもらったその場所には、あちらにもこちらにもと数本がまとまってたくさん見つかりました。



6月の行事

6月 8日(日) 観察会「秋吉台のカタツムリ」

6月21日(土) 観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」

